

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	卒業：選択 保育士：必修 幼二免：選択
担当教員			
松井 由美子			

講義概要	<p>①子どもにとっての環境のとらえ方 環境の変化と子どもの生活 変化した環境と保育問題          ②環境との関わり方 環境への興味関心の持たせ方 保育者に必要な資質と配慮          ③動物に親しみ興味関心を持つ 植物を栽培して変化を観察 天気（空・雲・雨）の変化と生活          ④自然のものを使った作品づくり 自然のものを活かした遊び 科学遊びを通じた自然現象への興味関心          ⑤記号、文字への関心 遊びを通しての数量、図形の基本認識 体験できる環境構成と小学校教育との関連</p>
授業計画	<p>1 領域「環境」の意義 子どもが「環境とかかわる」ことの意味と意義について学ぶ</p> <p>2 子どもの発達と環境 幼児期の発達特性を踏まえての環境がもつ意味</p> <p>3 子どもの発達と自然環境 保育における動植物の役割・動植物の生き方、育ち方を知ろう</p> <p>4 実習「植物栽培」 水耕栽培による草花・野菜の栽培に取り組む</p> <p>5 実習 自然に学ぶ 春の野原の散策と川の生き物・昆虫等の観察と採集</p> <p>6 実習 自然に学ぶ 春の野原の散策と川の生き物・昆虫等の観察と採集</p> <p>7 「環境」活動計画の立案 設定理由・ねらい・準備・活動案作成</p> <p>8 子どもの発達と園の環境 園内環境が発達に及ぼす影響について考える 他</p> <p>9 人的環境としての友だち・保育者の役割 保育者の役割と専門性について考える</p> <p>10 演習「木の葉で遊ぼう」 葉っぱ集め・葉っぱで遊ぼう</p> <p>11 演習「科学遊び」 紙飛行機・色水あそび・シャボン玉等</p> <p>12 子どもの発達と物的環境の役割 物的環境とその働きについて理解する</p> <p>13 好奇心・興味・関心を育てる環境 遊びを通しての学びの意義と意味</p> <p>14 好奇心・興味・関心を育てる環境 遊びを通しての学びの意義と意味</p> <p>15 これからの幼児教育と課題 子どもを取り巻く問題からの保育活動の見直し</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①子どもたちの置かれている環境について理解し、教育的観点から望ましい園環境を理解する。          ②子どもたちの環境との関わり方について教育的配慮の下に支援する方法を理解する。          ③身近な環境に親しませ、自然の様々な事象に興味や関心をもたせる技能を身につける。          ④子どもが環境に自ら関わり、様々な発見や思考を経て、結果を生活に生かす技能を養う。          ⑤身近な事象と関わり、物の性質や数量・図形についての感覚を育てる技能を養う。</p> <p>レポート及び各領域ごとの活動、演習態度、期末試験を総合して評価する。          レポート及び各領域ごとの活動20%          演習態度20%          期末試験60%</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：『保育内容・環境』横山文樹 編著 同文書院          参考書：『環境』山内昭道・八並勝正 編 同文書院          『遊びの指導・幼少年教育研究所』 同文書院</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	授業態度は将来「保育者」になるにふさわしいものであること。

保育内容の他領域との関連を常に考えて総合的に学習してほしい。  
飼育・栽培活動については、授業だけではなく年間を通して観察や飼育の体験活動をしてほしい。